

〔中谷泰事務所 記録〕 昭和三十四年一月

藤野龍さん病氣をお見舞いしましょう

皆さま、展覧会も近づいてまいりましたので、いよいよご制作でお忙しいことと存じます。ご健とうをお祈りいたします。

このたび、会員の藤野龍さんが、白内障という眼病になられて、大変こまっておられます。白内障はしろそこひともいわれ、失明の危険にさらされておられるような状態です。藤野さんはずっと会の困難な時に事務をやつて下さいましたし、今でも会のことをいろいろ心配して下さることは、すでにご承知と思えます。勿論手術を受けられる由ですが、これも失明を待つて受けた方がより確かに回復するのだそうです。

藤野さんはいま、非常に不安な気持とたたかひながら、医者へゆくにもまるで霧の中を行くような歩きかたで、それでも一日も早くよくなるうと一心に努力をかたむけておられます。

絵かきが、眼をやられるということは、ほんとうに生命にかかわるような重大なことです。他人ごととは思えません。でも藤野さんは、ただこの上は近代医学を信じ再起の日を待つといっておられます。一日も早く元気な藤野さんのお姿に接する日を待つ気持ちは私たちもみんな一様に違いありません。

そこで私たちは会の人々と相談して皆さんに、このような心細い状態に

おられる藤野さんを何とかはげまし、又治療費の一部に役立つよう救援基金を皆さんに、お願いすることにいたしました。どうか皆さんの心からのご協力を期待いたします。

一口 三百円 幾口でも可

送り先 春陽会事務所

東京都世田谷区代田一ノ三六〇

中谷 泰 方

世話人 岡 鹿之助

加山 四郎

三雲祥之助

水谷 清

昭和三十四年一月二十五日